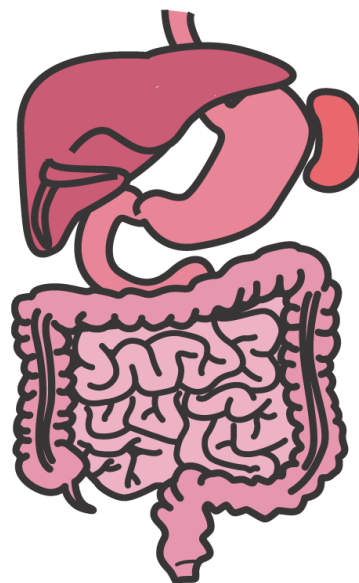




胃（経鼻）・大腸内視鏡検査を受ける方へ



- ①検査は 14 時からで、便の状態が良好になった順にご案内します。
- ②検査着に着替え、処置室で点滴をします。（水分補給と鎮静剤などの薬をいれるため）
点滴を押しながら、内視鏡室に移動します。
- ③水薬を飲みます。（胃の中をきれいにするもの）
- ④両鼻に通りを良くするスプレーをかけ、通りの良い方に、
麻酔のゼリーを注入します。合計 **10 分** かかります。
- ⑤検査中は薬を 4 種類使います。（全てを使わない場合もあります）
 - ・ 胃腸の動きをおさえる薬 ・ 鎮痛剤
 - ・ 鎮静剤 ・ 目覚めをよくする薬**※大腸から鎮静剤を使用する場合は別紙同意書が必要です。**
- ⑥まず胃検査から行います。左横向きで
画面を見ながら先生がカメラを入れます。
入らない場合は、反対に入れます。
両鼻から入らない場合は口からのカメラに変更になります。
食道・胃・十二指腸を観察し、5 分前後で終わります。
- ⑦次に体の向きを 180 度入れ替えて、大腸検査にうつります。
肛門から盲腸まで観察します。途中、体の向きをかえたり、
お腹を押さえることがあります。検査時間は平均 30 分位ですが、個人差があります。



検査後は最低 1 時間程度休んでいただきます。（鎮痛剤のみ使用の方は 30 分程度）

* 保険請求、自己負担金が発生することがあります。（医師が必要と認めた場合）
内容によっては、2～3 日は刺激物やアルコールの摂取はできません。
内服薬の再開は、かかりつけ医の指示に従ってください。
癌の鑑別のための組織検査、虫体・魚骨などの除去、ピロリ菌検査

- ⑧麻酔を使っているので、検査後は **1 時間程飲食ができません。**
上を向いてのうがいや喫煙もできません。

※検査後にのどの痛みが 2-3 日続くことがあります。

